

令和6年度 中央区立月島幼稚園 外部評価報告書

外部評価委員：片寄紀子、鈴木猛夫、中島忠秀、今井喜友美

報告書作成者：神山安弘

評価時期 令和7年3月

1 重点目標の評価

重点目標1「幼児の健康な体づくりを推進する。」について

評価指標①「体を十分に動かして遊ぶことを楽しんでいるか。」、評価指標②「栽培活動や食育活動に興味をもち、喜んで関わっているか。」は、保護者・教職員から100%のA[十分達成している]・B「達成している」の高い評価である。また、全体の評価1「幼児は幼稚園に行くことを楽しみにしている。」、全体の評価5「幼児は明るく伸び伸びと幼稚園生活を送っている。」、全体の評価6「幼稚園は、幼児が体を動かして遊ぶことや自然に触れる経験にすすんで取り組んでいる。」も高い評価であり、園が目指す幼稚園像「子供たちが、笑顔で元気に通う幼稚園」の具現化に向け、教育活動を意図的・計画的に実践した成果である。特に、園の環境を生かした栽培活動は、季節の野菜を「栽培」「収穫」を体験し、「カレーパーティー」や「おいもパーティー」で「食べる」活動へと展開している。幼児は豊かな自然との触れ合いに喜んで関わり、保護者も幼児の成長を実感できる特色ある教育活動である。

重点目標2「幼児が主体的に関わり表現する楽しさを味わうことを通して豊かな心を育む。」について

評価指標①「素材に触れることや作ったり描いたりして表現することを楽しんでいるか。」、評価指標②「植物や水、砂、土など身近な自然物に興味をもち、試したり気付いたりしながら遊ぶことを楽しんでいるか。」は、保護者・教員がA「十分達成している」・Bの「達成している」の高い評価である。工作活動で、幼児に想像する力や工夫する力を育むことや製作の素材を身近に用意することで、幼児の活動意欲を高めるなどの成果が見られた。また、園の自然環境を生かし、幼児が植物の種、花、実や小さな虫などに興味・関心をもち豊かな遊びを構成するなどの教育活動は顕著な成果が見られた。これらは本園が目指す、「幼児が主体的に関わり表現する楽しさを味わい豊かな心を育む」教育活動の成果である。

重点目標3「家庭や地域と『月島幼稚園大好き!』の気持ちを共有する。」について

評価指標①「日本や様々な国・地域の文化への興味・関心をもちることができたか。」は、保護者・教員がA「十分達成している」・Bの「達成している」の高い評価である。家庭で経験ができないことが多い、日本の季節行事や伝統文化に触れることや正月遊びなどを保護者とともに体験する「場を設定」する教育活動の成果である。しかし、他の評価指標と比べ「十分達成している」の割合が保護者・教員ともに低い。保護者は、設問の「様々な国・地域の文化」を「外国の文化」を学ぶ国際理解教育などを想定した結果とも考えられる。設問の意図を整理し文言の検討が求められる。評価指標②「親子で絵本に親しむことができたか。」、評価指標③「家庭や地域に向けて、教育内容や幼児の育ちについて、分かりやすく情報発信がされていたか。」は、ともに高い評価である。評価指標②は、絵本の貸し出し、読み聞かせ、魅力ある絵本の部屋づくり、絵本の紹介など園の地道な教育活動の成果である。評価指標③は、園務支援システム「ルクミー」の活用し、幼児の教育活動の様子や学びの実態、成長の姿を発信した成果である。また、全体の評価12「連絡や情報の提供」・全体評価14「教育活動の情報発信」も高い評価を得ており、家庭への連絡や情報の提供により「家庭とともに幼児」を育てる体制づくりの成果である。

2 今後の改善に向けた意見

・保護者・教員アンケートにおいて全ての項目において高い評価である。高い評価の要因についてアンケート結果等をもとに分析・考察し、今後も継続して教育活動の質の向上を図ることを期待する。

3 その他の意見

・園の経営方針や教育活動に対する信頼と実績に対して高い評価である。今後も園が保護者と連携し充実した教育活動を推進することを期待する。また、本園の豊かな自然環境や地域の豊かな人的環境などを生かした教育活動を創意工夫し、特色ある教育活動の推進を期待する。